



ゆづりは

堺市立図書館だより

第4巻 第4号 (通巻14号)
 発行日 平成22年3月18日
 編集・発行 堺市立中央図書館
 〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-1
 電話 072(244)3811
 Fax 072(244)3321
 URL <http://www.lib-sakai.jp/>

ますます便利な図書館に！ ～祝日開館、開館時間延長～

2010年は国民読書年です。これを機に、図書館サービスの向上をはかり、市民のみなさまが読書活動を通じて、心豊かで文化的な生活を営むことのできるよう、平成22年4月1日より、祝日の開館による開館日拡大と、開館時間の延長を行います。

●開館日を増やします！

国民の祝日を開館し、開館日を年間24日増やします。

平成22年4月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
	20	21	22	23	24	25
	27	28	29	30		

平成22年5月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

■ = 休館日、○ = 祝日 (月曜日と重なっても開館します)

●開館時間を延ばします！

一部の図書館の開館時間を平日30分、土・日を60分延長します。

図書館	曜日	変更前開館時間	変更後開館時間
中央・中・東・西・南・北・美原図書館及び堺市駅前分館	火～金	午前10時～午後7時30分(中央図書館こども室は午後5時まで)	午前10時～午後8時(中央図書館こども室は午後5時まで)
	土・日	午前10時～午後5時	午前10時～午後6時
	祝休日	休館	午前10時～午後6時
東百舌鳥・初芝・梅・美木多分館	火～日	午前10時～午後5時(変更なし)	
	祝休日	休館	午前10時～午後5時

お知らせ

2010年は「国民読書年」。
 また、4月23日から5月12日は「こどもの読書週間」です。
 読書の楽しみを広げる場所として、どうぞ図書館をご利用ください。



じゃあ、読もう。

目次

ますます便利な図書館に！…1
 ご家族そろって図書館へ！…2
 シリーズ堺の〇〇「堺の建て倒れ」…2
 堺かるたいろはの「ぬ」…3
 この本で解決！～食べ物科学～…3
 司書のイチ押し！『老人たちの生活と推理』…4
 私にとっておきの一冊その12…4
 堺市立図書館電話番号一覧…4

ゆづりは

とは・・・

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人、河井醉茗氏の歌碑があります。

「年ごとに ゆづりゆづりて 譲り葉の ゆづりしあとに また新しく」

この歌にちなみ、年月を経て、世代を越えても、次々に新しい情報をお伝えできるように、堺市立図書館だよりに「ゆづりは」と名づけました。

(河井醉茗氏については、「ゆづりは」通巻第1号にご紹介しています。)



ご家族そろって図書館へ！

～子どもから大人まで、みんなで楽しもう～

国民読書年の今年、家族みんなで本や図書館をもっと身近に活用いただけるよう、さまざまな催しを行っています。

● 子ども読書活動推進講座（保護者向）開催中 ● ● ●

家族皆での読書のきっかけ作り、保護者の方に向けた講座を各区の図書館で開催しています。

今回はその講座の中から親子で一緒に参加していただいた「科学であそぼう かがやけ10えんだま」の様子をご紹介します。

（2月28日中央図書館で実施）

科学読み物研究会の西村寿雄先生と、お父さんやお母さんと子どもたちが一緒に、10円玉を作られた時のようにピカピカにする方法を予想しながら実験を進めていきました。実験のたびに歓

声があがり、講座のあとは先生の紹介された本をはじめ、展示していた科学の本を借りて帰る姿も見られました。

この他にも、各区で活躍されているボランティアの方にも協力いただき、乳幼児の保護者から中高生の保護者に向けたものまで、読書に関わるさまざまな講座を実施しています。今後の予定については、堺市や図書館のホームページやチラシ・ポスター等でご案内していきますのでぜひご参加ください。

● 堺っ子読書フォーラム開催 ● ● ● ● ● ● ● ● ●

1月31日、子どもの読書活動への理解と関心を深め、読書の楽しさをアピールするため、堺っ子読書フォーラム「子どもと本の扉をひらく」を開催しました。

家庭・地域・学校での取り組みの実践報告と、絵本学研究所主宰の正置友子氏の講演、堺市内で活動するボランティアによる人形劇・おはなし・絵本の読み聞かせ・工作の実演や、各団体のパネル展示によって、子ども読書活動について多くの方に知っていただける機会となりました。



シリーズ「堺の〇〇」「堺の^ただ^お建て倒れ」

「京都の着倒れ、大阪の食い倒れ」という言葉があるのは、みなさんよくご存じだと思いますが、本来は、これに「堺の建て倒れ」が加わって「衣・食・住」のセットになるそうです。「町に住まう知恵」（谷直樹著、平凡社刊）によると、「正徳3年（1713年）刊の浮世草子（『商人職人懐日記』）に、「京は著（き）て果、大坂は喰て果、堺は家で果る」という諺が引かれている」とあり、江戸時代にはこの諺が一般的に使われていたと思われます。

堺の町家は「堺普請」とよばれる様式が確立していたとされ、その様子は井原西鶴の『本朝二十不孝』の中にある「先斗（ぼんと）



に置いてきた男」という章の「堺の中央の大道筋に、南向きで間口二十七、八間の檜の格子造りに、二重座の釘を打ってかがやかせ、奥深く裕福そうな、見るからにうらやましい住まいがあった」（『西鶴全集8』小学館より）といった表現からも、うかがい知ることができます。

堺の中心部では、昭和20年（1945）の空襲により、戦前の建物の多くが失われました。そんな中、被災をまぬがれた「山口家住宅」は主屋が江戸時代初期に建てられたとされており、江戸期の堺を伝える数少ない証人となっています。「堺の建て倒れ」のたとえどおり、堺衆が建物に贅（ぜい）を凝らした名残りを示すもののひとつかもしれません。

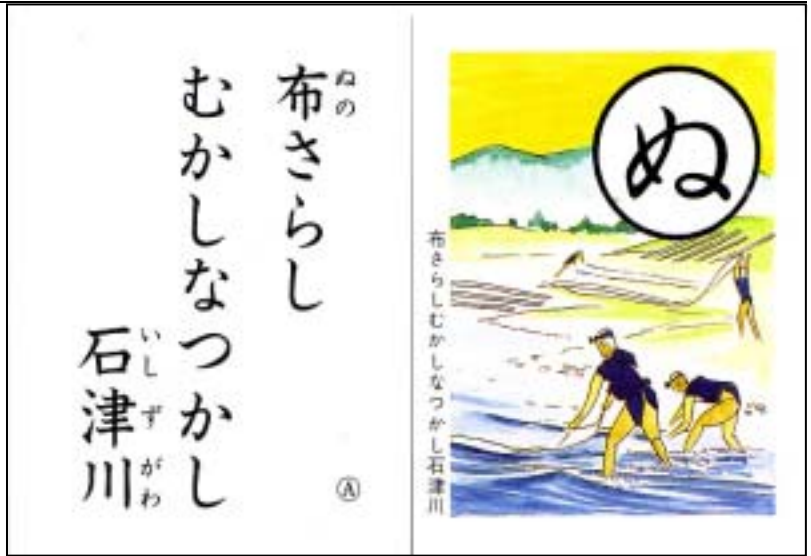


（写真）昨年「堺市立町家歴史館」としてオープンした山口家住宅外観（左下）および内部（右上）。
住所：堺区錦之町東1丁2-31 阪堺線「綾ノ町駅」下車 電話：072-224-1155（写真提供 堺市文化財課）

堺かるた - いろはの「ぬ」
「布さらし むかしなつかし 石津川」

江戸時代後期に発行された「和泉名所図会」には、豊富な水量の石津川での布晒（さらし）の様子が記されています。和泉・河内の木綿栽培を背景に成長した木綿産業によって、晒は堺の名産品となりました。布晒は、木綿を漂白するために水にさらし、真白に仕上げるといふ工程です。

堺の晒業の歴史については「堺市史 続編」第1巻「晒布マニュファクチュア」などに詳しく記されています。手作業から工場制へ変化をとげながら、晒業はいまの堺に受け継がれています。



この本で解決！
～食べ物科学～

理科が苦手だった人も、身近な食べものの成分や性質についてなら、少し興味がわいてきませんか。実際に質問された内容を集めてみました。

牛乳にレモンを入れたら固まったがどうして？

レモンの酸によって牛乳のたんぱく質が凝固したためです（「牛乳読本」（NHK出版））。この酸凝固の性質を利用して、自宅でチーズを作る方法があります。ナチュラルチーズ（菌などで熟成させるチーズ）は、牛乳に、乳酸菌と「レンネット」という牛乳のたんぱく質を固める酵素を加えて作りますが、レンネットは入手がしにくく、高価なので、自宅で作る場合は、レンネットの代わりにレモン汁や酢などを加えて作ります。ただしカルシウムは、レンネットを加えた場合と異なり、ホエー（乳清）と呼ばれる水分の方に溶け込むので、チーズには含まれません（「牛乳のひみつ」（さ・え・ら書房））。具体的な調理法については、「ミルクブック」（主婦と生活社）、「ミルクが変身！はいチーズ」（理論社）などをご覧ください。



柿の渋抜きをする際、ドライアイスを用いる方法が知りたい。

「カキ 果樹園芸大百科」（農文協）にドライアイス（炭酸ガス）を利用した渋抜き方法が載っています。渋柿を口にすると、渋み物質であるタンニンによって、舌などに強い渋味を感じます。タンニンは、渋柿・甘柿両方に含まれていますが、成熟した甘柿では「（タンニンが）水に溶けて渋みを感じる可溶性から水に溶けない不溶性に変化するため」渋味を感じません。そのため、渋柿では、渋みを感じなくするために、タンニンの不溶化、つまり渋抜きが行なわれるのです。また、渋抜きにはドライアイスのほか、お湯やアルコールを使う方法があり、「カキ かがくのとも」（福音館書店）ではそれらがイラストつきで紹介されています。

発泡スチロールはなぜ柑橘類の皮の汁で溶けるのか知りたい。

オレンジやグレープフルーツなど、柑橘類の果皮には、多量の精油が含まれていて、その精油成分の80～90%を占めるのが、リモネンという油です（「果実の科学」（朝倉書店））。発泡スチロールは、ポリスチレンという物質を発泡させ、ふくらませたものですが、「絵本たのしい化学4」（合同出版）によると、リモネンとこのポリスチレンの分子構造はよく似ており、リモネンがポリスチレンを構成している分子のからみあいをバラバラにほぐしてしまうため、柑橘類の皮の汁で発泡スチロールが溶けるのだそうです。

ゆで卵で、殻のむきにくいものがありますが、それはなぜですか？

ゆで卵の殻をむこうとしたら白身までむいてしまった、という経験は誰にでもあると思いますが、これは卵白に含まれる炭酸ガスが関係しています。産みだての卵をゆでると、この炭酸ガスの膨張により、卵白の圧力が高くなって、卵白と卵殻膜が卵殻に押しつけられて殻に密着し、殻のむきにくいゆで卵となります（「卵のハテナQ&A」（東京農大出版会））。炭酸ガスは数日の間に卵殻の表面にある気孔からぬけていきますので、産まれて何日かたった卵は、殻がむきやすくなります。



司書のイチ押し!

『老人たちの生活と推理』 コリン・ホルト・ソーヤー／著 東京創元社

舞台はアメリカの超高級な老人ホーム「海上のカムデン」。高額な支払いが必要なため、入居者はもちろん裕福な老人ばかり。敷地は広く、中には独立したコテージや、狭いながらもプライベートビーチまであり、ホテル並のサービスが受けられる。しかも完全看護の病院まで併設されていて、いたれりつくせりの環境だ。

メインの登場人物は、ここの老人とスタッフ達。夫を亡くして「海の上のカムデン」へやって来た一人の老婦人によって話が進められてゆく。

物語は、このホームでの老人達の日常からゆるゆると始まる。楽しい食事、足や腰の痛み、フリーな24時間をどう過ごすか? などなど思いはさまざま。皆それなりに人生を達観しており、子どものような争いはあるものの、外界から守られ、安穏とした日常がゆったりと流れる世界、誰も今さら面倒ごとに興味はない。すべてから引退したような生活で殺人事件とは無縁に見える。

そんな中で、入居者の老人が砂浜で殺された。通りすがりの物盗りが犯人だろうと誰も興味を示さなかったが、殺人目的の事件である可能性が生まれた。ホームの皆は口をそろえて、被害者は目立たない、殺人事件の犠牲者となるとは思えない人物だったと言う。では、いったい誰が、どんな動機で殺したのか? ↗

退屈な毎日の中、年は取っても、まだまだ「やれる」と思っているおばあちゃん達。事件担当の警部補が、若き頃あこがれたムービースターにそっくりとあらば、「お手伝い」にも熱が入るといふもの。

ストーリー全般に老人達の生活観が、ちょっとヒネリのきいた口調で書かれていて面白い。例えば老いの受けとめ方にしてもユニークだ。耳が遠くなれば、さぞ不自由だろうと思うが、車道側の部屋でも、騒音に悩まされず熟睡できると言っている。

この発想の転換が、事件をとく鍵となる。若い刑事では見逃してしまう手がかりをつかんで、おばあちゃん探偵達の独尊、いや独走が始まる。

最新作である第6作目が出たばかりなので、最後に御紹介しておこう。(S)

『老人たちの生活と推理』シリーズ		
①『老人たちの生活と推理』	2000年	7月発行
②『氷の女王が死んだ』	2002年	4月発行
③『フクロウは夜ふかしをする』	2003年	3月発行
④『ピーナッツバター殺人事件』	2005年	6月発行
⑤『殺しはノンカロリー』	2007年	10月発行
⑥『メリー殺しマス』	2009年	12月発行

わたしの “とっておきの一冊” その12

◆『ステップファザー・ステップ』 (宮部みゆき著)

主人公はプロの泥棒ですが、わけあって双子の義父(ステップファザー)になります。いろいろな事件を通して双子と主人公の絆が深まっていくところが心に残りました。

◆『パスワード悪の華 中学生編』 (松原秀行著)

パスワードシリーズは一冊でいろいろな問題が出てくるのでとてもおもしろくて好きです。とくに中学生編では、主人公達がそれぞれ違う場所にいるのに最後にはみんなが集まって問題をといていくという所が好きです。

図書館へ職場体験学習に来られた中学生のみなさんに、おすすめの本を教えてくださいました。小説を楽しんだり、将来に役立てたり、自分なりに本に親しんでいる様子うかがえます。

◆『名門野球部の甲子園伝説』(別冊宝島 1335)

ぼくは野球を小3からやっていて、もうすぐ高校生なので甲子園をねらえる高校にいきたくとおもって、この本を選んで読みました。

◆『デモナータ』(ダレン・シャン著)

3人いる主人公のそれぞれの視点から描かれていて、発想が新しくとてもおもしろい。主人公の考え方や性格がだんだん大人に変化していく様子や、一言では言い表せない複雑な感情をファンタジー形式で伝えてくるので、つい時間を忘れて読みふけてしまう。

堺市立図書館 電話番号一覧	
音声応答サービス	280-0415
中央図書館	244-3811
くすのき号	244-3811
堺市駅前分館	222-0140
中図書館	270-8140
東百舌鳥分館	234-9600
東図書館	235-1345
初芝分館	286-0071
西図書館	271-2032
南図書館	294-0123
梅分館	296-0025
美木多分館	296-2111
北図書館	258-6850
美原図書館	369-1166
人権ふれあいセンター 図書ホール	245-2534
青少年センター 図書室	228-6331

行政資料番号 1-K3-09-0103